

<h1>そだて</h1> <p>第282号</p>	小千谷市 青少年育成センター	〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号 Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750 相談専用電話 0258-82-6771 e-mail: s-center@city.ojiya.niigata.jp URL http://www.city.ojiya.niigata.jp/
---------------------------	-------------------	---

継続する意味

令和2年10月

小千谷警察署生活安全課長 増田被則^{かすのり}

私が警察官になって早30年を越え、いつの間にか退職までの期間が10年余となり、月日の流れが一層早く感じられるようになってきたこの頃。

昨年从小千谷警察署生活安全課長を命ぜられ、2年目の小千谷警察署勤務となっています。

私が所属する生活安全課は業務の窓口が広く、DVやストーカー本案の対応、不法投棄や盗撮などの特別法犯の捜査、少年事件捜査、銃砲や風俗営業等の許可業務などを課員3名で受け持っています。

私が生活安全課の担当になって18年が過ぎ、その間6カ所の警察署等で勤務し、各地において業務を行ってきましたが、私が勤務したどの警察署でも、少年による犯罪行為や飲酒喫煙・深夜はいかい等の不良行為など、少年の非行に関する問題が必ずありました。

このような少年の非行等に関する問題は、一朝一夕で解決できるものではなく、また、警察だけで解決できるものでもありません。

私は、継続した地域の力が非行防止や防犯の大きな原動力となるのだと思っています。

小千谷市でも、地域の方々に補導員を委嘱して、各地区の実情に合わせた街頭補導活動や学校・各機関との情報交換等の青少年健全育成活動を定期的に行っていると思います。

正直に申し上げますと、こういった活動のひとつひとつは小さな活動です。

しかし、この小さな活動がたくさん集まることにより、大きな力となるのだと思います。

さらに、その活動が脈々と継続されることで、地域全体が健全育成の心を濃くもつことになり、みんなで子どもたちを見守り・育てることにつながるのだと思います。

小千谷警察署管内では、平成30年中の犯罪少年（犯罪行為で検挙された少年）が13人でしたが、昨年・令和元年中は0人、今年9月末現在も0人です。

喫煙や深夜はいかい等の不良行為で警察で補導した少年については、平成30年中は80人、昨年・令和元年中は57人、今年9月末現在は9人と、大きく減少しています。

数字だけで全てを評価できるものではありませんが、この減少の背景は、地域で行っている地道な街頭補導活動等の継続した力によるものが大きいと思います。

まさに、「地域の子どもは地域で育てる」を小千谷市の皆さんが実践しているのだと感じます。

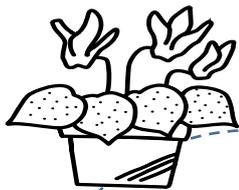
今年は、新型コロナウイルス感染症により、生活様式の変更を余儀なくされ、様々な行事等が中止となっていますが、国民が一体となった地道な感染症対策を継続することが、この感染症を克服することにつながるのだと思います。

同様に、子どもたちの健全育成は市民全体が一体となった、途切れのない地道な活動により成し遂げられるのだと思います。

この活動を継続する意味、それは未来明るい子供たちのため。

☆～「愛の一声」～☆

青少年補導委員 街頭補導より



◆西小千谷地区

○小学生2名(6年生)が子どもだけでイオンに来ていたので、声をかけました。

「次からは必ず親と来ます」と自分から話していました。素直でした。

○普段は歩かない裏通りを自分の目で見て確認。危険な場所はないか、子ども達はいないか等。思ったより暗い通りはなく静かな町でした。

○コロナの影響もあり、人出は少なかったが、総体では中高生が元気な挨拶を返してくれて嬉しかった。

◆東部地区

○時間帯が違えばやはり人の流れ、移動も違ってくるものだと感じた。

○お盆休みのわりに人出があまりなかった。

◆南部地区

○イオンでは女子中学生2名に声がけ。買い物が済み次第帰る予定。コロナの中、県外ナンバーが数多く不安を感じた。

○キックボードをしながら携帯ゲーム機で遊んでいた小学生が一人いたので、声をかけたところ、キックボードから降りて止まってゲームをしてくれました。

◆北部地区

○ベイシアを巡回後、学校区を回りましたが、子どもの姿はなく異常なしでした。

○いつものイオンより人が少なく感じました。女子中学生のグループに先生から声をかけてもらい話をしました。少しでも活動の意味があったと思いました。

◆高校・支援学校

○特にトラブル等の報告もなく、学校周辺の施設の利用状況も良好とのことで、気持ちよく街頭補導ができました。

○夏休みも終わり、学校が始まり出歩くこともないのかと思った。家でのゲーム三昧で、今の子ども達は出歩かないのかもと思った。

○17時からスタートしたので、子ども達だけの行動はあまりなく全体的に人も出ていなかった。イオンのゲームセンターでは日中は小中学生が出てくるが、ブリクラを撤去したら女子は来なくなったらしい。



青少年育成センターより

補導委員さんによる、今年度の補導活動が終了しました。小千谷の子ども達が様々な人に見守られて、安心して生活ができる実感をもてるよう補導活動をしてくださった補導委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

11月は児童虐待防止推進月間です。虐待は誰でも身近に起る問題です。地域の目で子育て家庭を見守り、勇気を出して優しい声かけをしましょう。